

五地陣地戦斗細部状況

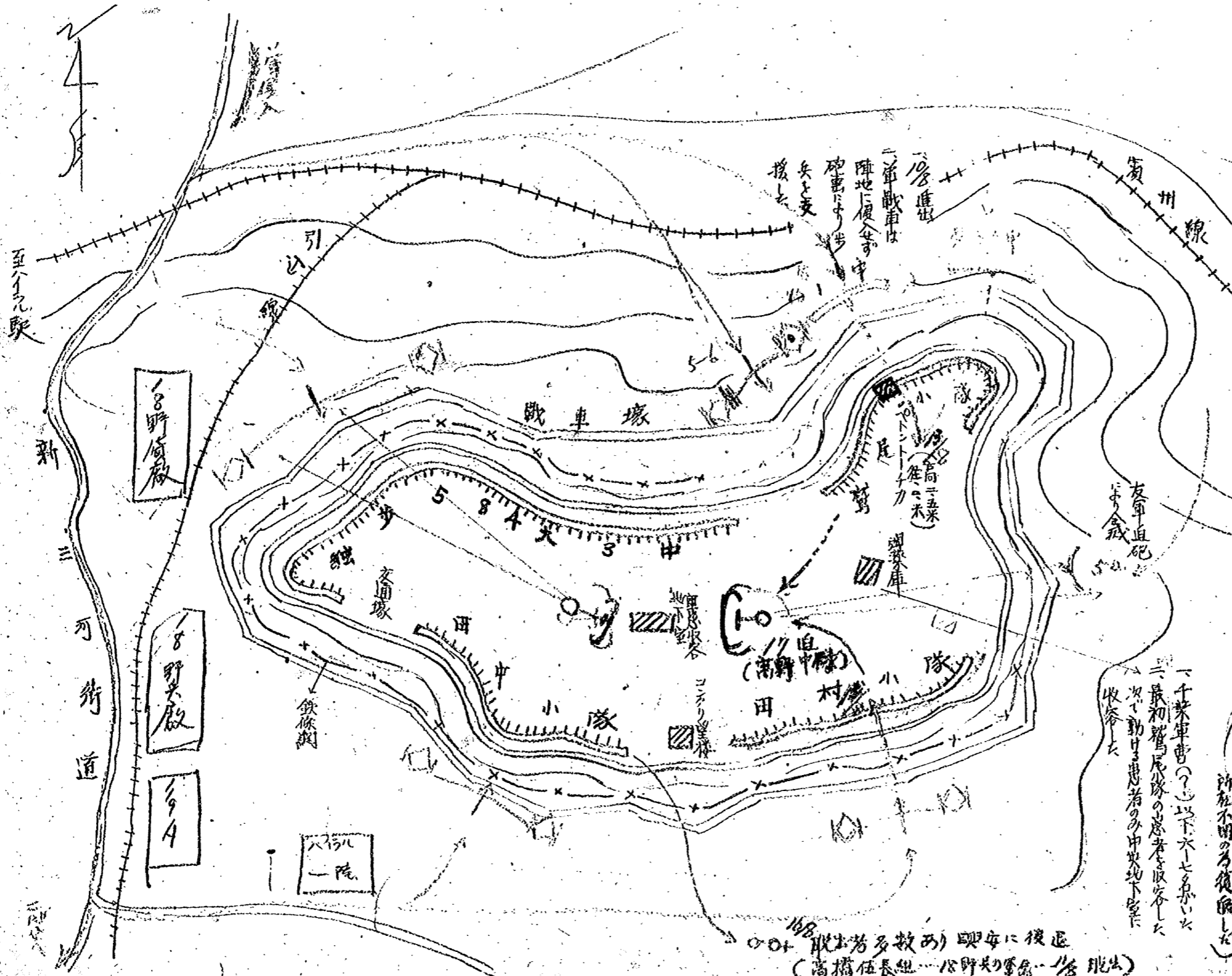
鷲尾小隊の戦斗状況

- 一、2/8不明軍飛行機二機陣地附近爆撃 同日夕刻再度米機照明投下
- 二、1/8午後新三河街道方面より歩兵中隊(歩兵)戦車五、六輛が攻襲して来た
- 三、当時の装備(武器は後)小銃、軽機、重機(各小隊あり)小銃隊各八、六、六
- 四、軍戦車は戦車壕前面に止り各陣地に猛烈な砲撃を加(歩兵の侵入を支援した夕刻には)と引揚りた
- 五、鷲尾小隊の兵約百名は野貨^原野貨^原に陣地を築き、弾薬を取りに行き糧食を持って全員飯置した
- 六、1/8鷲尾小隊田村小隊の中間を縫って軍歩兵約五、六名が侵入し交通壕附近に殺到したが友軍迫撃砲が命中し全滅した
- 七、軍自動小銃を鹵獲し各人小銃を捨てこれにより戦斗した
- 七、1/8田村小隊より鷲尾小隊へ傳令に未だ望月二兵(三中)は地下陣地入り前で戦死した。同日田村小隊戦死
- 八、1/8未明田村小隊より5、4、4の官本任長が兵2、3名を連れし鷲尾小隊に増援にきたが到着と同時に官本任長敵戦車砲弾で戦死。この日各小隊陣地大軍戦車の猛攻を受け損害甚大であった
- 鷲尾小隊の損害は約70%に達し小隊長鷲尾見七戦死
- 田村小隊の損害は軽微である
- 同日小隊地下陣地は軍に占領せられた(同日はたんに引揚り翌日再び侵入)以後残存の人員は中央部の陣地に集結、鷲尾、田村小隊は今村任長(大?)が指揮をとり陣内戦を續行した(交通壕の前はタコ米を掘り壕内に来た兵と狙撃は手榴弾を攻撃した)
- 九、1/8夕刻は残存の兵で戦斗 各小隊午後15時敵の攻撃は散漫であった
- 十、1/8夕刻軍特務原参謀が停戦を通知して来た。よって同日夜残存兵集結し軍歩兵武解、兵を各隊に收容すべし
- 十一、戦平間の重傷者及び位は陣地中央部の地下室内に收容し、1/8夜撤退時同所に放置して来た(これは終戦は知らず軍倉庫停戦で即時興安に下つて決戦を考へていた)
- 十二、同地は陣地上野貨野貨の軍属数人が戦平間興安に撤退した
- 十三、1/8兵各隊に地下陣地からの来る患者を3、3名いた

五地区(鷺尾、田村、田中各小队)战斗概要图

全戦状況

一、若狭歩兵八隊隊中隊に敵高陣地構築
 中間戦とす
 二、新三河街道方面より戦車を含む有力部隊の
 攻撃を受け、各近交戦此の間挺進奇襲等を敢行
 多数の損害を出し中央地下陣地に後退す(細野親
 三、若狭歩兵八隊一部は奥地に脱出
 四、敵供戦とす



一、十架軍曹(?)以下六七名あり
 二、最初鷺尾隊の意を収めし
 三、次に動けし患者のみ中央地下宮
 収容した

(田中) 鷺尾
 鷺尾全隊の連絡先
 田中
 東方敵の地点に田中隊より
 鷺尾隊長以下16名を派遣す
 あり(若狭歩兵八隊中隊、田中
 の二を田中隊に連絡し、田中
 所在不明なる後(田中))

戦死者多数あり(田中に後退
 (高橋伍長組、鷺尾の隊、一隊脱出))

田村小隊の戦斗状況

一 岩道重砲の一カ隊着 (高野尉)

同日下ま首の指揮する工兵一カ隊(30名)到着し砲し他へ行

二 10時午前 眼下のハイエカ飛行場に1機着陸した為

機歩五八四大の隊長の指揮で田村小隊兵五名輕機を持て出発飛行機焼却

し全員取還

三 田村小隊の損害は少かつた。岩道氏の分隊員は戦死二名であつた(人名不詳)

中野分隊 (田村小隊)

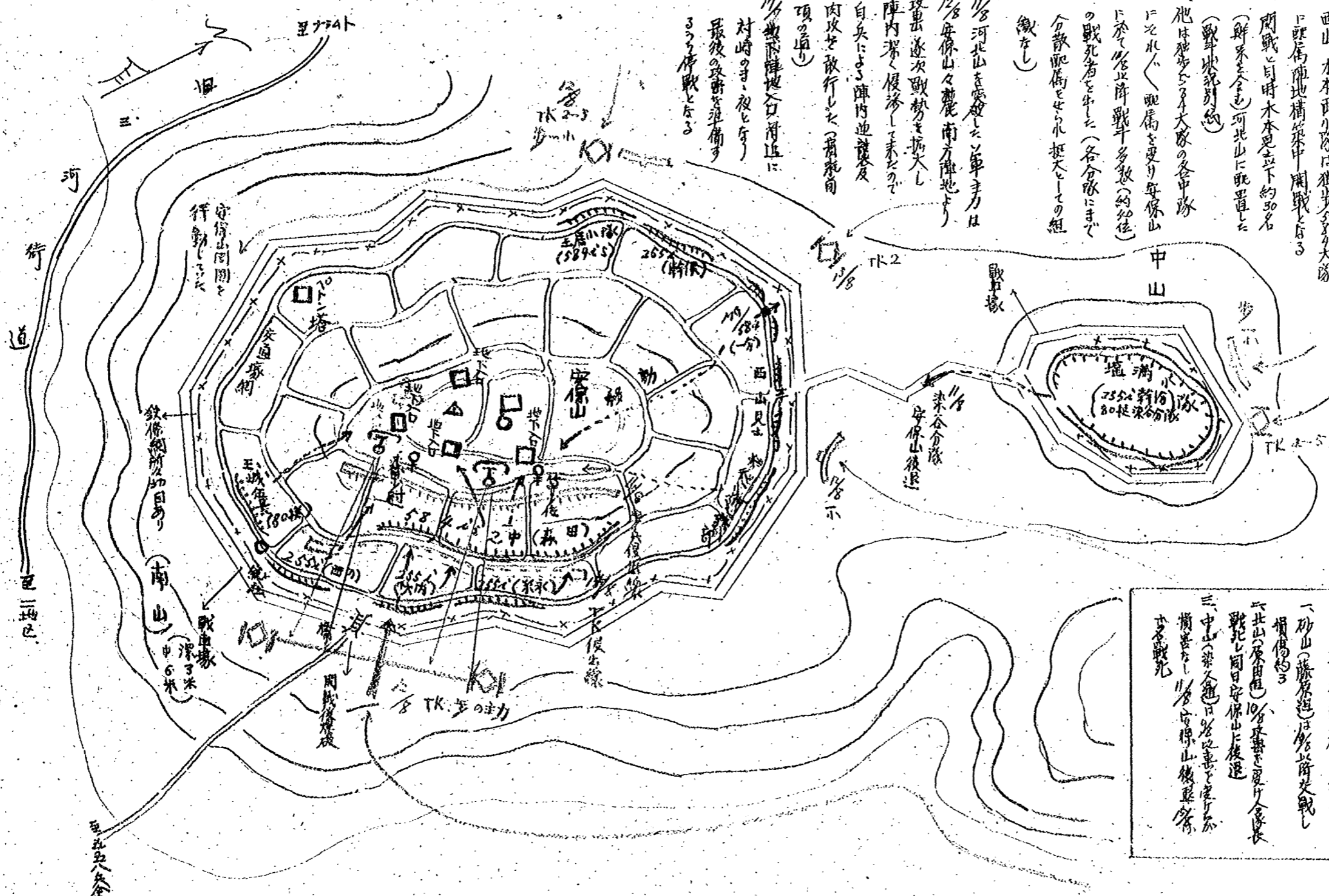
機歩五八四大佐藤見吉配属 10時中野兵長以下4名飛行機焼却
及病院を焼却に出発し消息不明

藤野分隊 (田村小隊) 16名

五地は——哈南の中間に遊撃隊兵を構筆の中一用戦況を
殆朝食後中原泉田の二名と田村小隊は連戦にあつた
所在不明の分隊に復歸した
機歩五八四大佐藤見吉配属

全戦概要

- 一 西山、木本両小隊は独歩隊を大隊に隊尾陣地構築中開戦した。
- 二 開戦と同時に木本見下約50名(鮮米を含む)河北山に既置した(戦地別紙)
- 三 池は独歩隊大隊の各中隊に之れ水へ、砲筒を渡り毎隊山に於て各中隊戦士多数(約30名)の戦死者を出した(各中隊にまで分散配備せられ拒入しての組織なし)
- 四 河北山を突破した独歩隊は12時毎隊山々麓南方面陣地より攻撃遂次戦勢を拡大し陣内深く侵襲して来たので自兵による陣内迎撃及び肉攻を敢行して(損傷前項の通り)
- 五 少隊陣地を河川に討つた、夜は(最後の攻撃を準備する)停戦となる

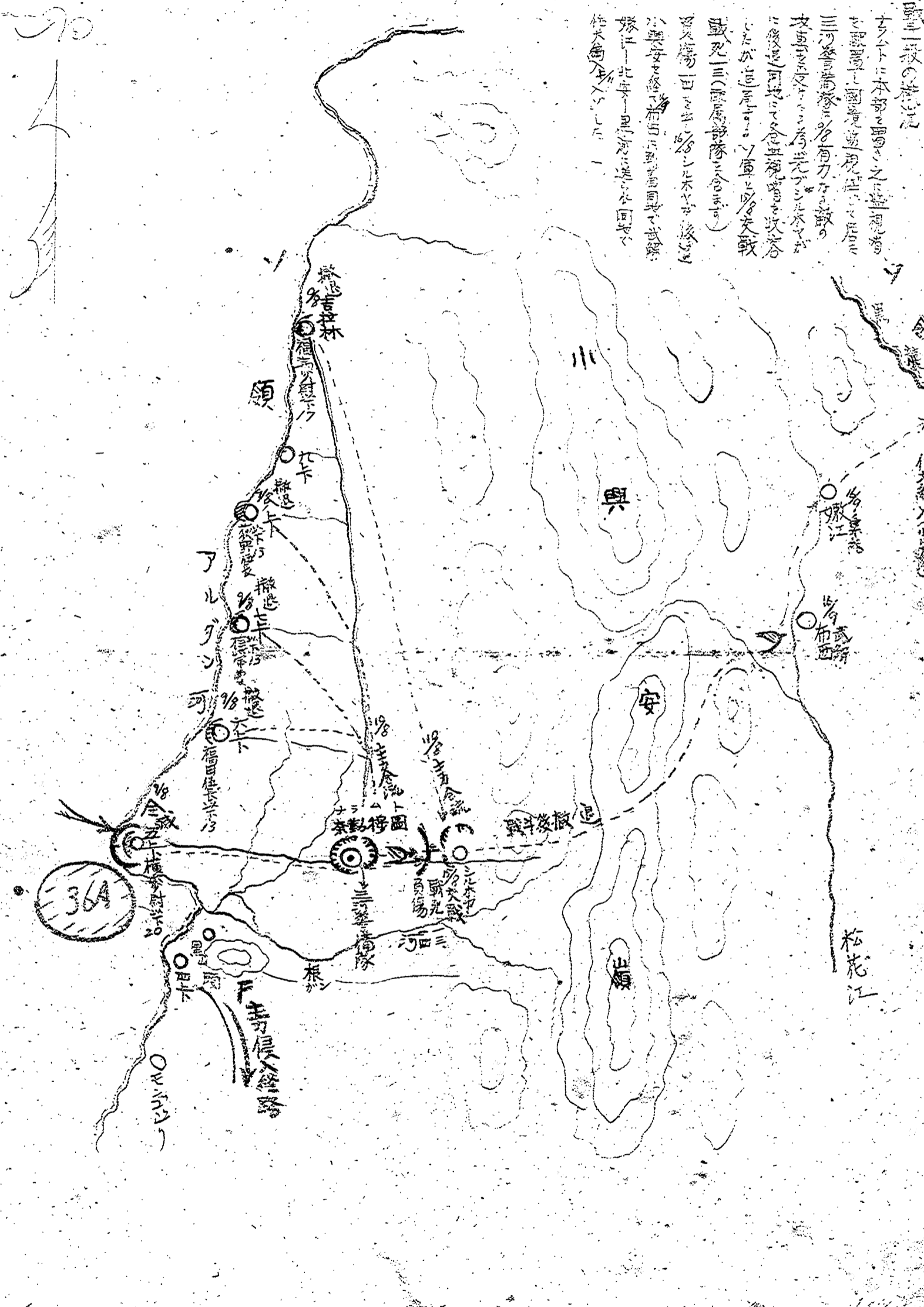


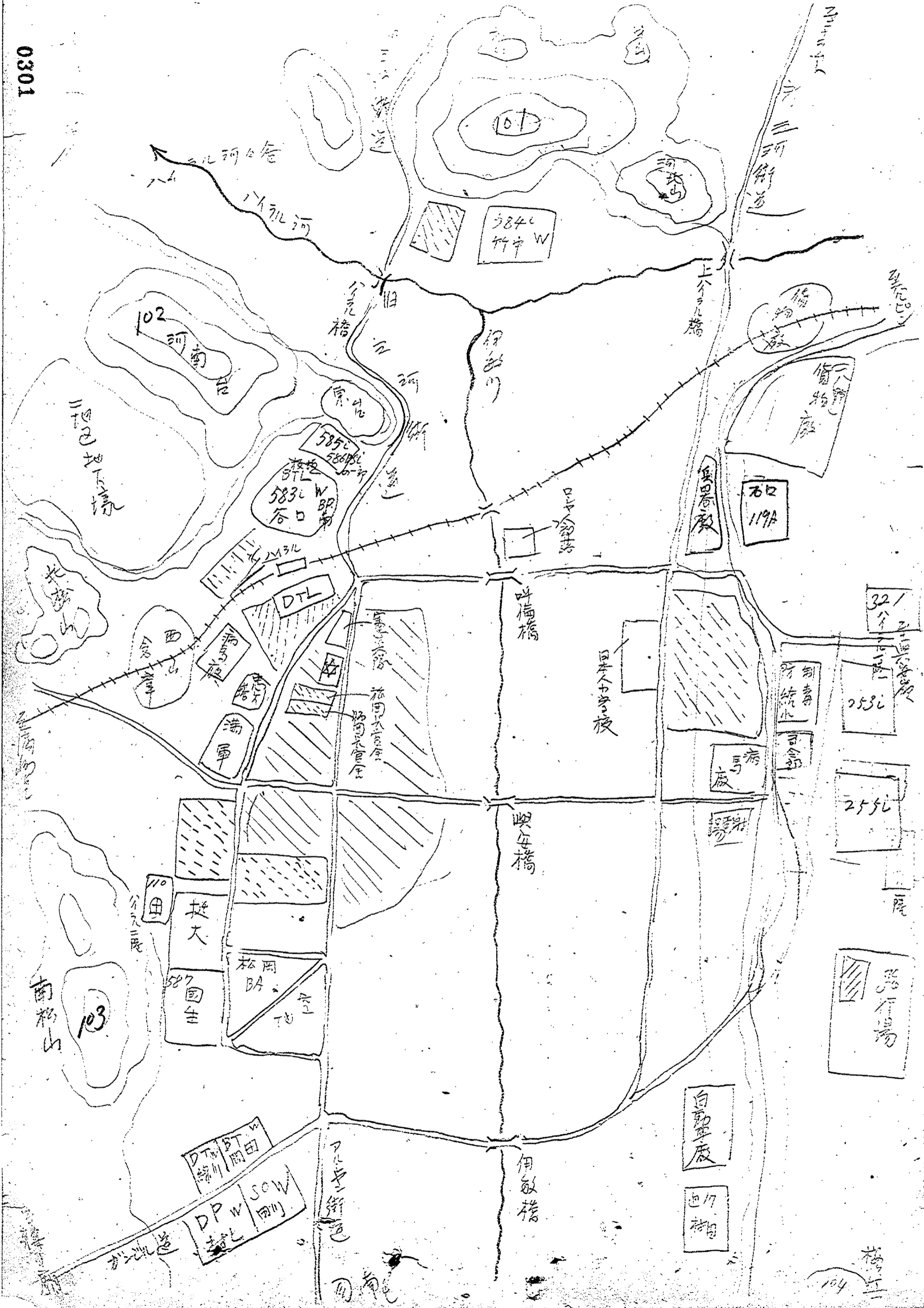
細部行動群の状況
 一 砂山(藤原道)は少隊陣地戦し損傷あり
 二 北山(原田包)は少隊を渡り全隊長戦死し同日安保山に後退
 三 中山(藤原道)は少隊を渡り全隊長戦死し同日安保山に後退
 四 各隊戦死

三河警備隊戰鬥(後退)經過要圖

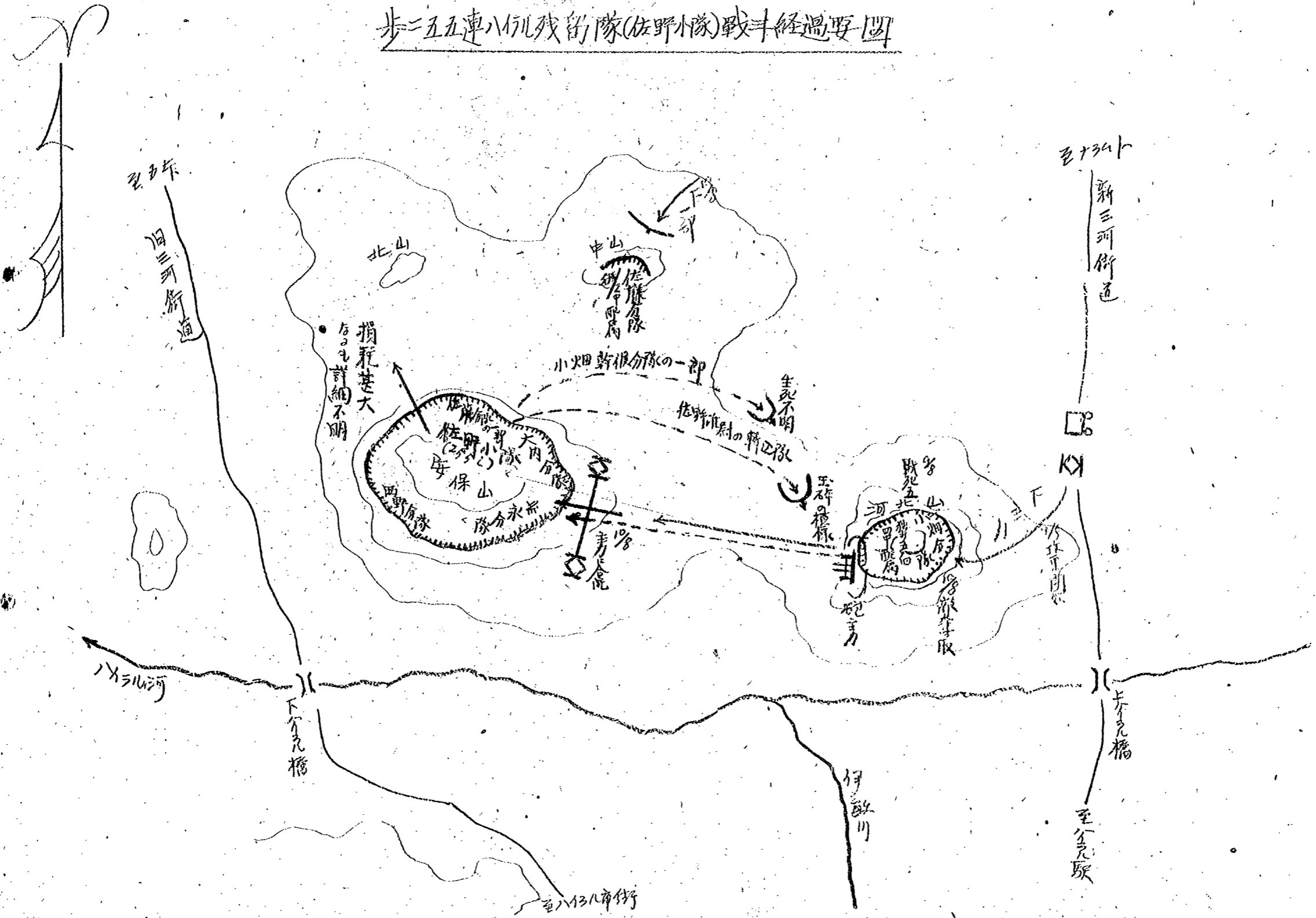
0300

一、三河警備隊の概況
 二、三河警備隊の編成
 三、三河警備隊の活動
 四、三河警備隊の撤退
 五、三河警備隊の戦果

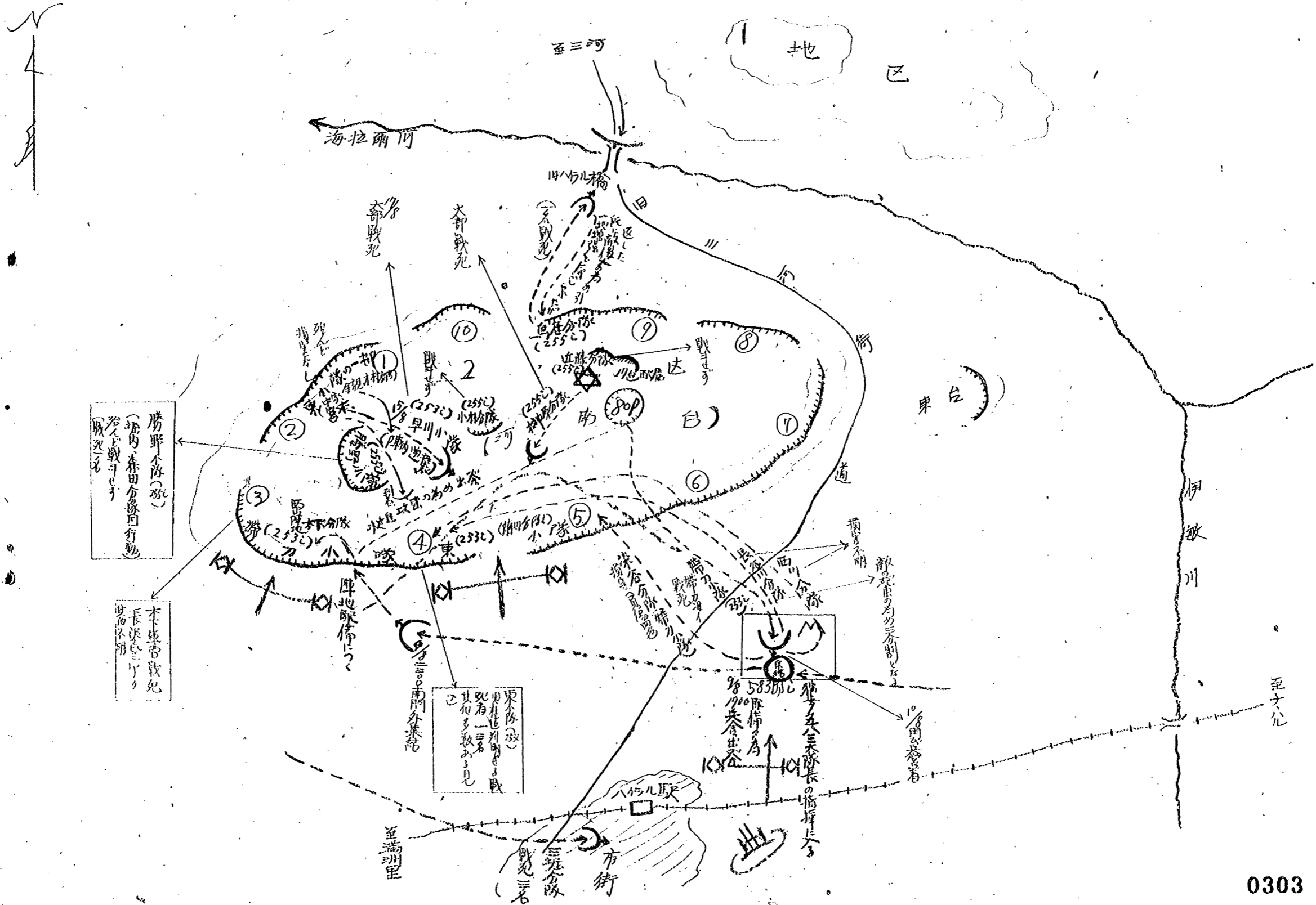




歩三五連八伍残衛隊(佐野小隊)戦経過要図



歩二五三連隊及歩二五五連隊戦斗経過要図



勝野小隊(戦)
(城内、森田分隊同行動
殆んど戦死す)
(戦死)名

木生常戦死
至三河(戦)
戦死(戦)

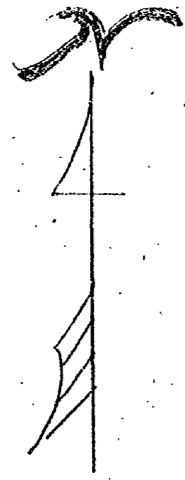
東小隊(戦)
見直され、戦
死(戦)
其れ多敷あり

至三河(戦)
至満洲里(戦)
至三河(戦)
至満洲里(戦)

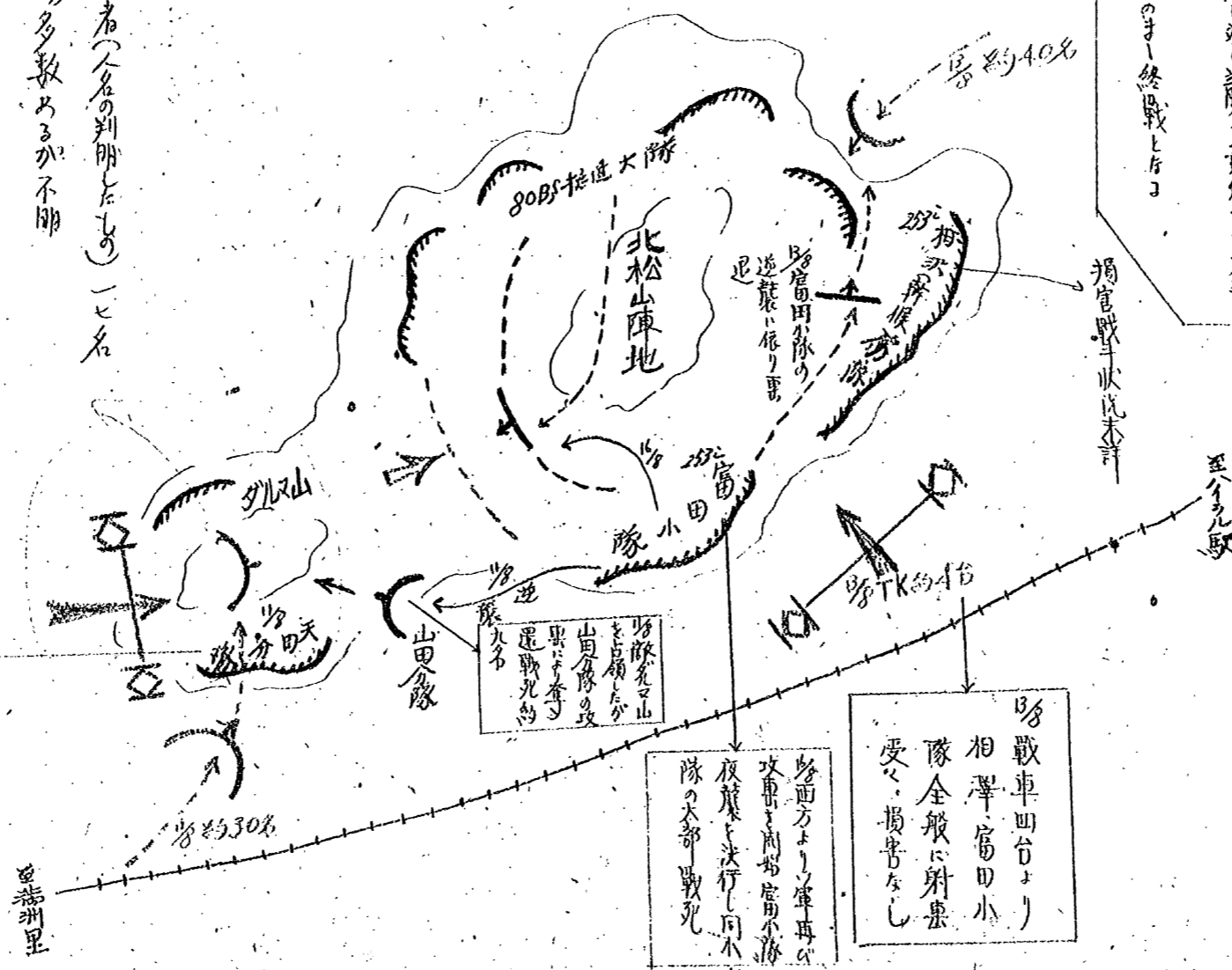
253ハイル残留隊(富田小队) 战斗経過要図

(昭和二十年八月十一日—八月十七日現在)

北松山陣地



- 損害
- 一 戦死者(人名の判明したもの) 一七名
 - 二 負傷多数(数めりか不明)
- (富田小队兵力約六〇の推定)
(相模隊小队"同右")



北松山陣地の概況

- 一 独歩五八大隊才三中队に配属の水鏡部は陣地の増強中であつた
- 二 ソン軍機甲部隊は歩戦連合に依り先頭を以つて丸ノ山を攻めと領したか山田分隊(逆襲)に損害甚大に戦死約九名
- 三 隊南方(相模富田小队)より水十台は攻めめしと損害あり 同日北方より攻め寄せ敵に對し逆襲を以て陣外に退却
- 四 山田分隊は西方より攻め寄せ敵に對し逆襲を敢行其の大部戦死
- 五 以上を以て我對峙のまゝ終戦とす

損害戦況表詳

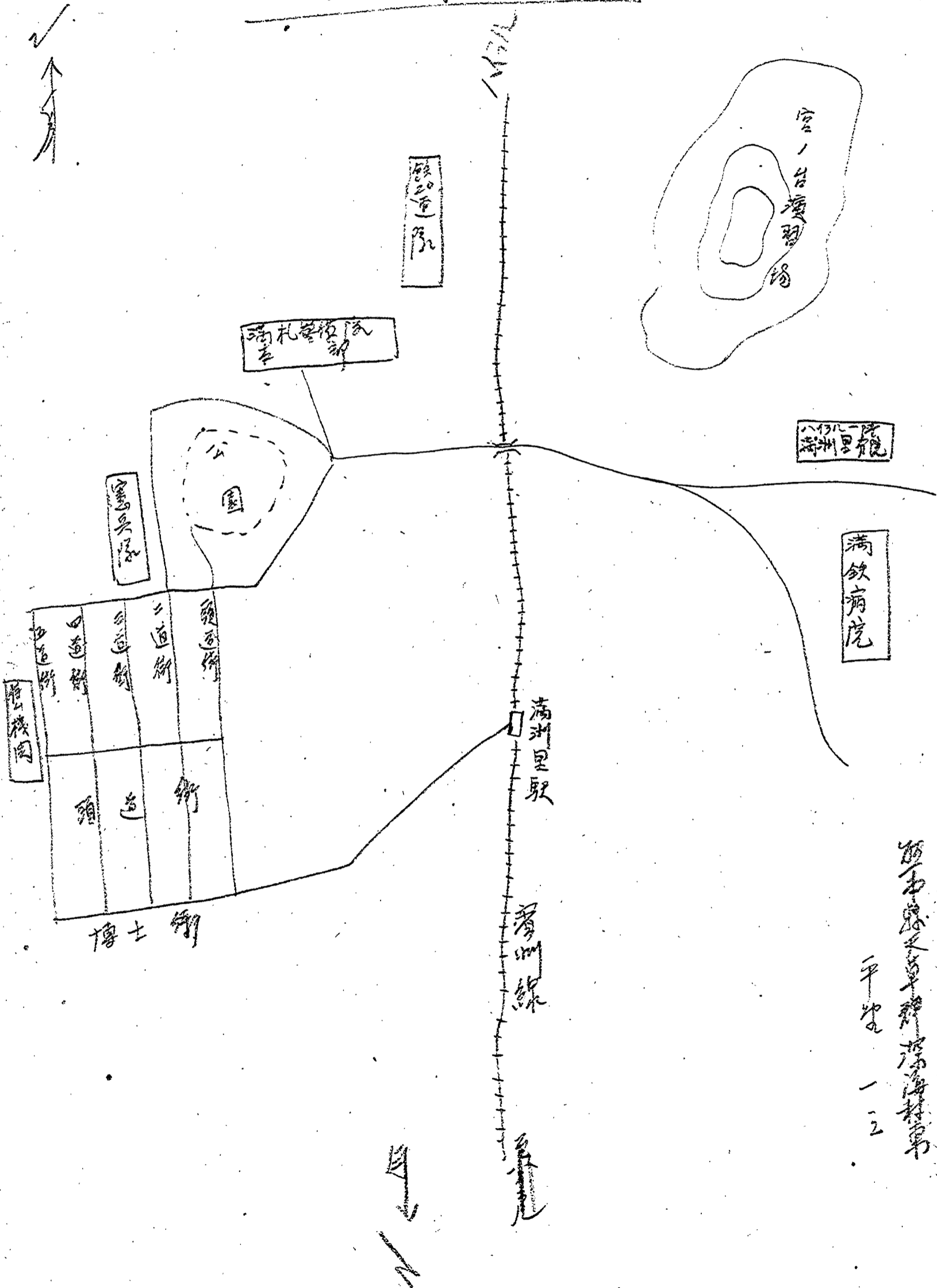
少佐。ソ連約三〇名の攻撃を受け天田隊長以下約九名戦死尚陣地の一部は侵入し山田分隊の逆襲に依り奪回

隊西方より軍再攻撃と相模富田小队夜襲と決行し同小队の大部戦死

戦車四台より相模富田小队全般に射撃受へ損害なし

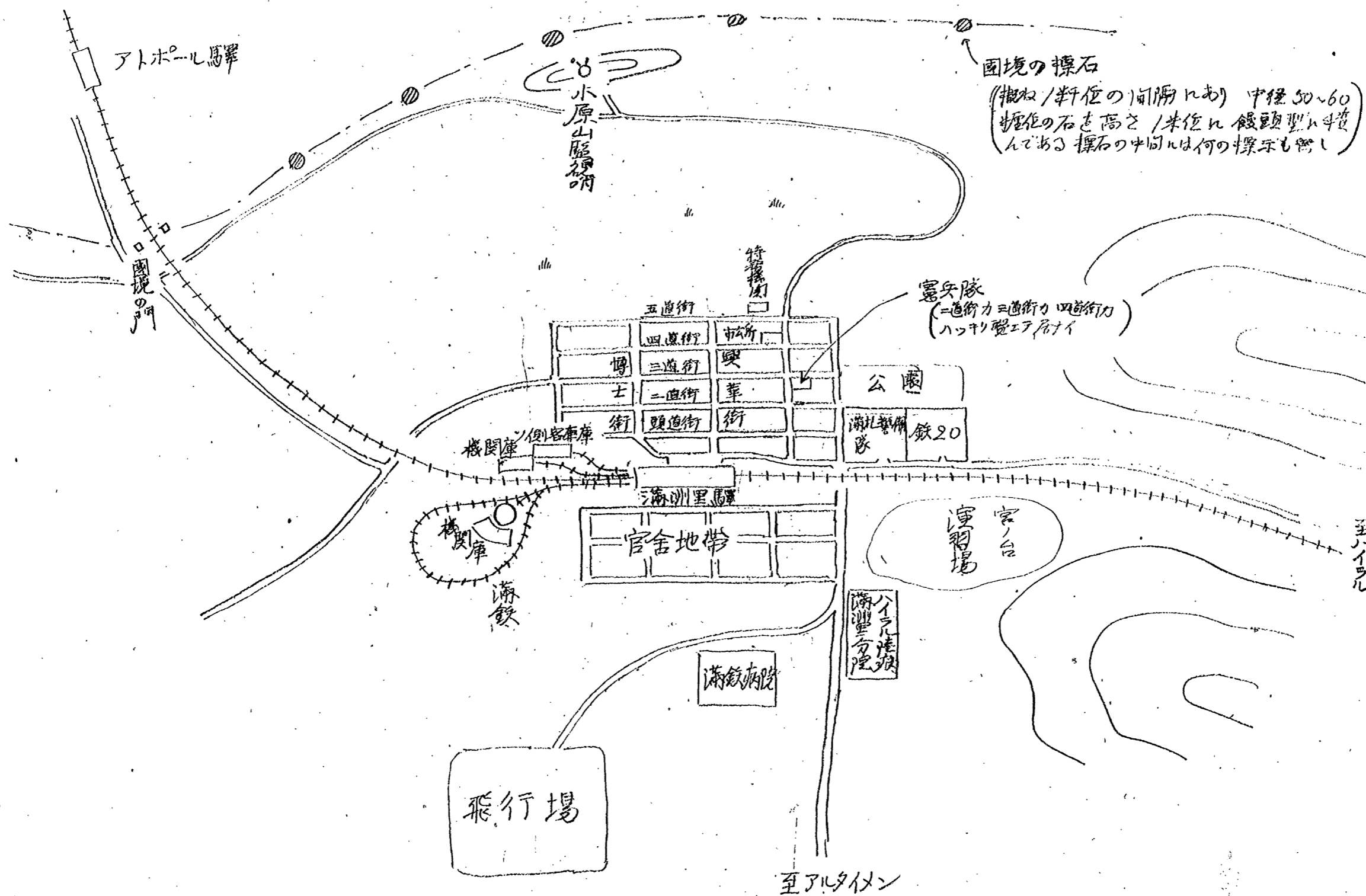
満洲里市街概要図

0305



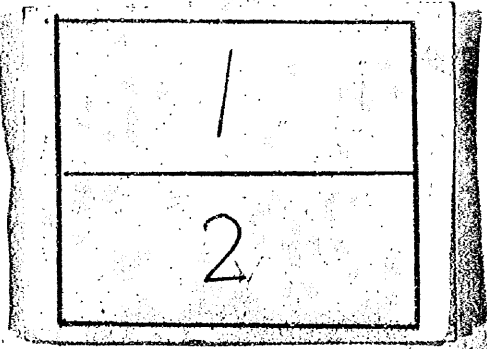
治具新築後
 西本島之町
 平定 一五

滿洲里市街圖

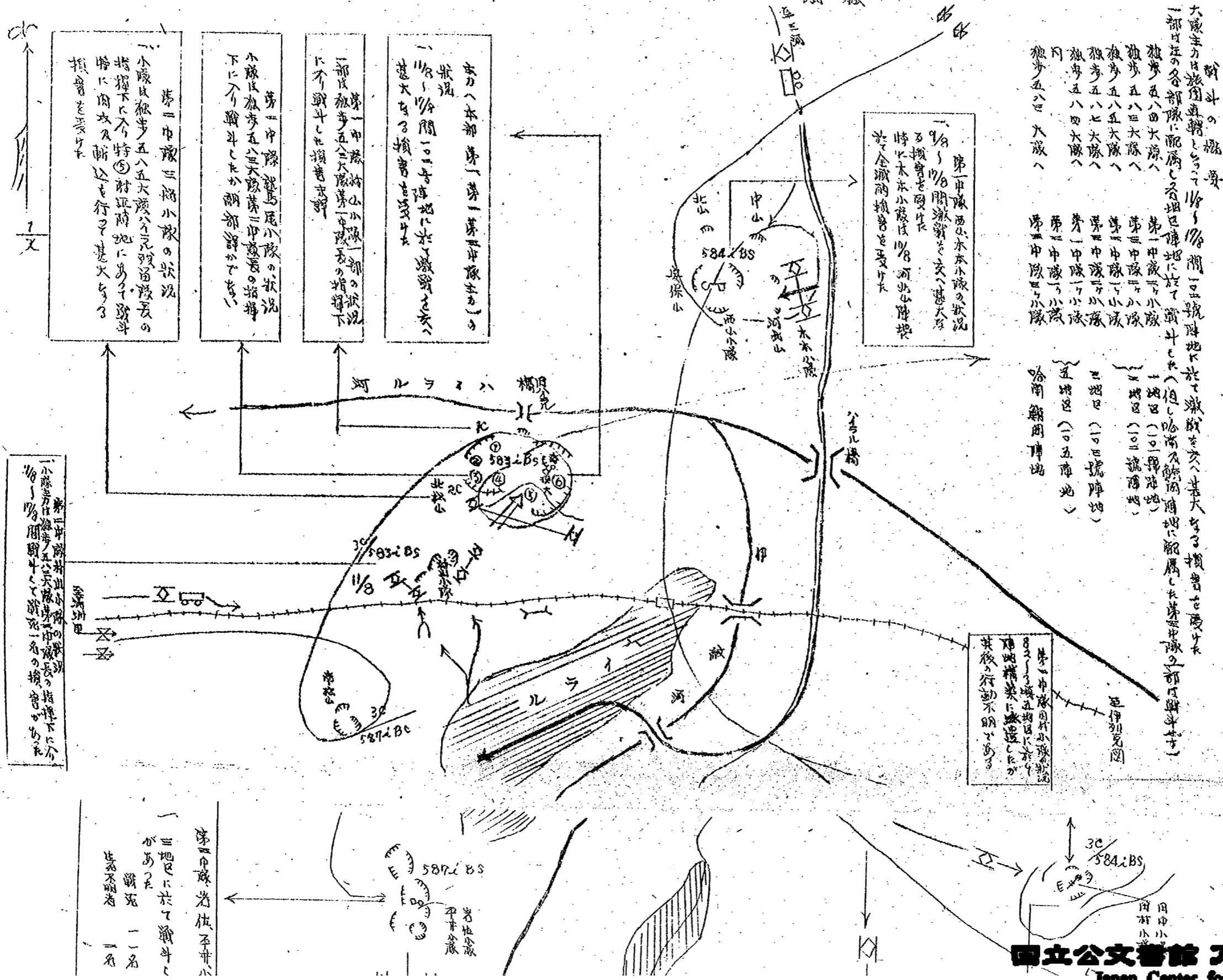


0306

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

混戦、旅團進隊大、隊斗要図



第一中隊は敵の陣地を突破し、敵の陣地を占領した。敵は激しく抵抗したが、第一中隊は勇猛果敢に戦い、敵を殲滅した。敵の遺棄した武器や弾薬を回収し、戦場を清浄化した。敵の陣地には地雷が埋め込まれていたが、第一中隊は慎重に地雷を排除し、安全な陣地を確保した。敵の陣地には多くの弾薬庫があり、第一中隊はこれらを破壊し、敵の戦力を弱体化させた。敵の陣地には多くの兵士が陣亡したが、第一中隊は戦死した兵士の遺体を回収し、丁寧に埋葬した。敵の陣地には多くの戦馬が陣亡したが、第一中隊はこれらを回収し、戦馬を飼育した。敵の陣地には多くの戦馬が陣亡したが、第一中隊はこれらを回収し、戦馬を飼育した。敵の陣地には多くの戦馬が陣亡したが、第一中隊はこれらを回収し、戦馬を飼育した。

三井物産山崎の隊は
海軍の五八大隊隊中隊長の指揮下に
。開戦して一隊の指揮官の指揮下に

八丁の戦場を
順地に順属した隊は中隊の一部は戦場を

隊一中隊田中隊の状況
は不明な状態にあり
。隊の行動不明である

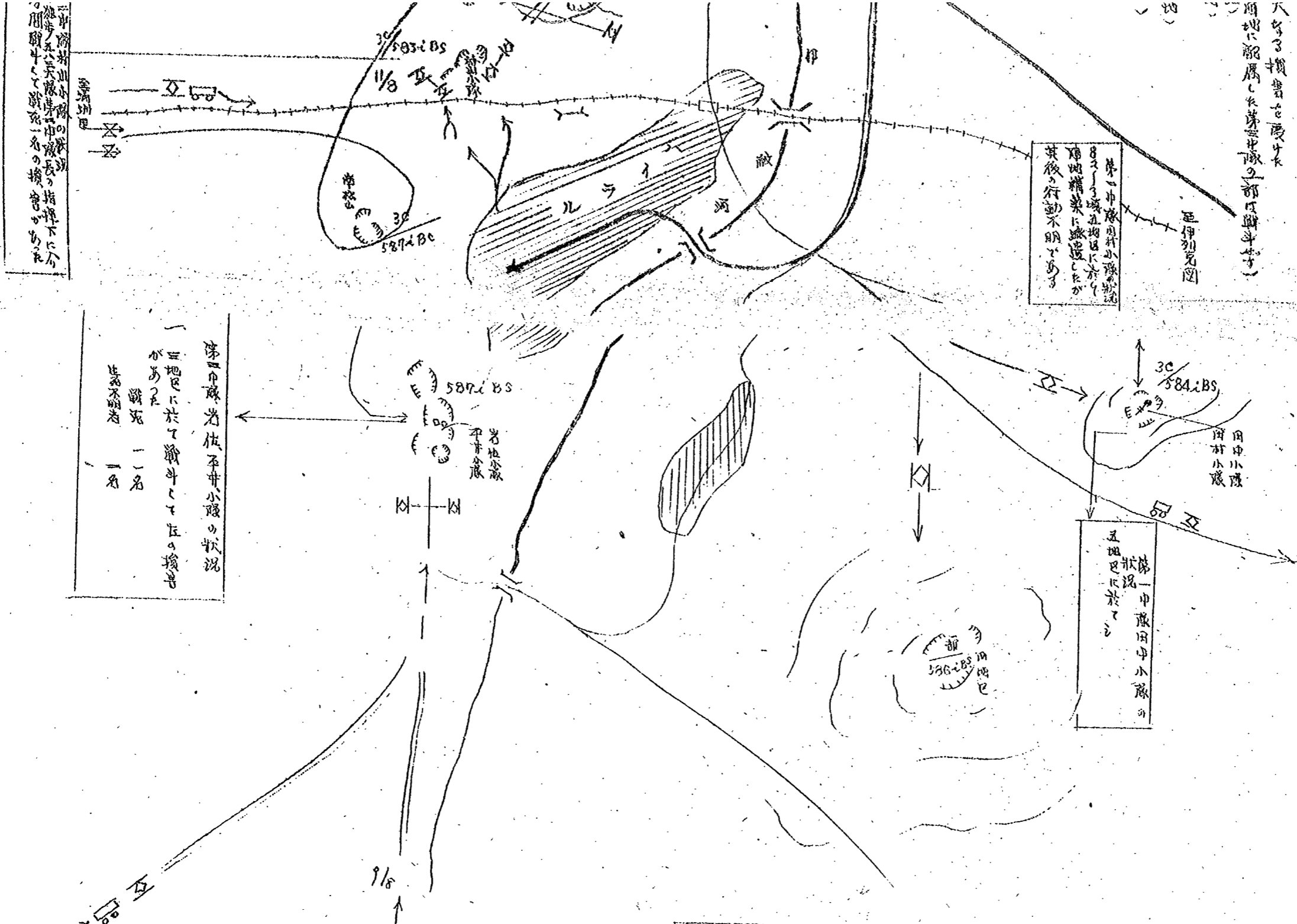
隊一中隊田中隊の状況
は不明な状態にあり
。隊の行動不明である

隊一中隊田中隊の
状況は不明である

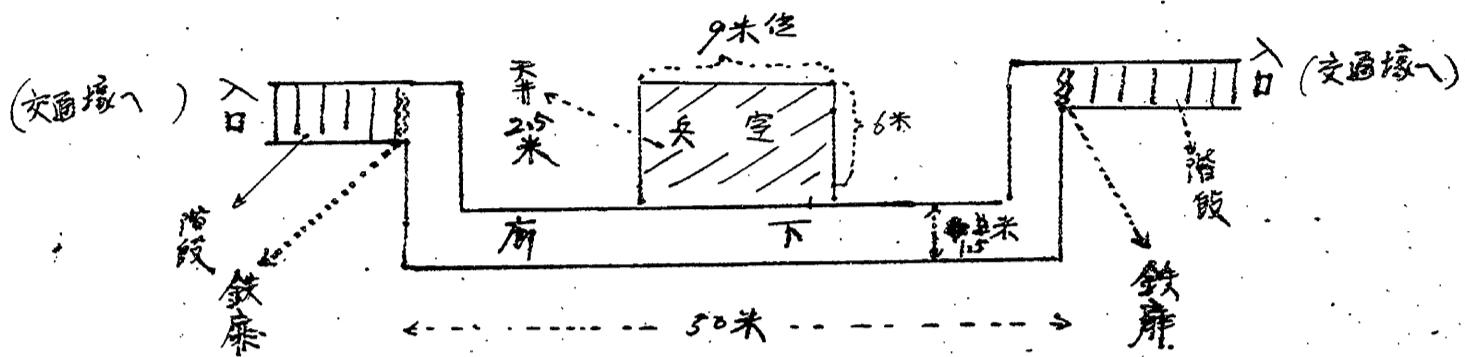
前田中隊の状況
は不明な状態にあり
。隊の行動不明である

隊一中隊田中隊の
状況は不明である

隊一中隊田中隊の
状況は不明である

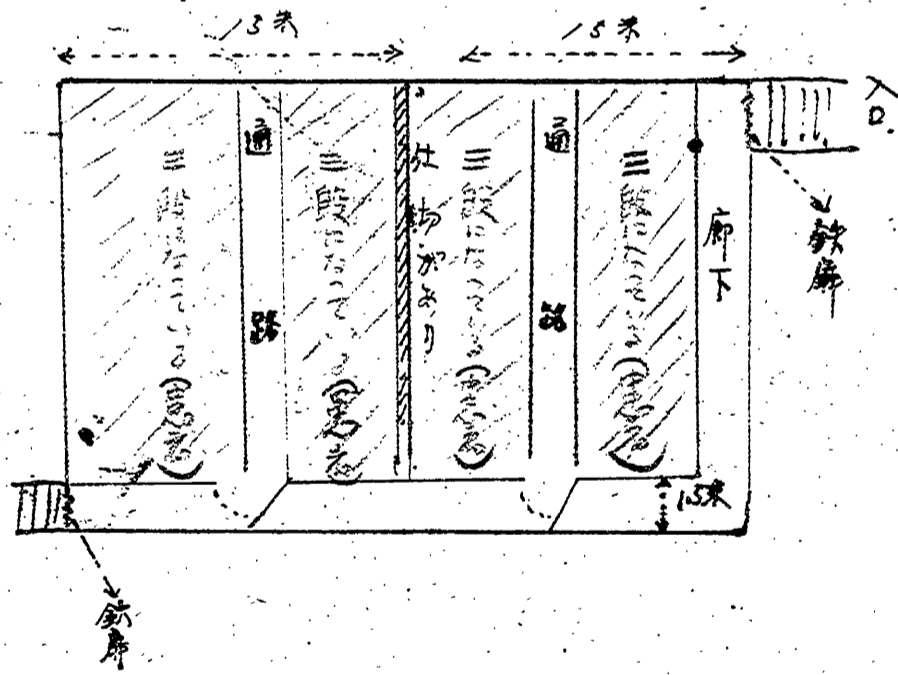


鷲尾小隊の地下陣地(室)



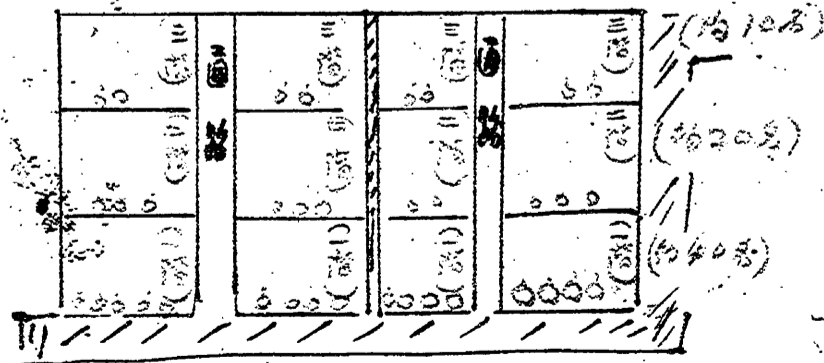
0310

五地区中央部の患者收容室



(平面図)

- ◎ 一般に約10名収容し得る
- ◎ 肩より小の患者
- ◎ 1/2 夜間部隊のものをとりこむとよい
- ◎ 1/2 以上は馬車や金車(金車)を用いた
- ◎ 同行するもの(馬車)はたがらるる

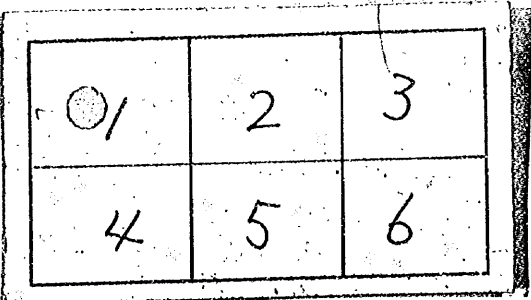


(断面図)

計 70~80名
(信傷者)
外に (整傷4名)

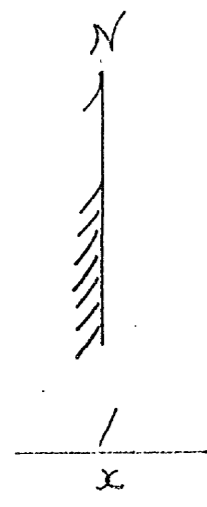
100~120名

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0311
0312
0313
0314
0315
0316

第百十九師團



卓山陣地の戦い概要

一、少佐長谷大尉の指揮する第二大隊主力(254C)は敵の東進を妨害する為卓山陣地に到着同地を備へる本隊中隊と併せ指揮

二、少佐は卓山陣地に攻取重兵を投入し攻撃し未了之と交戦し後少尉以下七名戦死行方不明多数を生ず

三、同日四益伍長以下約二八名卓山南側深谷附近の弁備中隊と交戦し一名生還し他は玉碎す

小杉陣地の概要

一、少佐遊要任務にて小杉陣地に到着し配属に回す

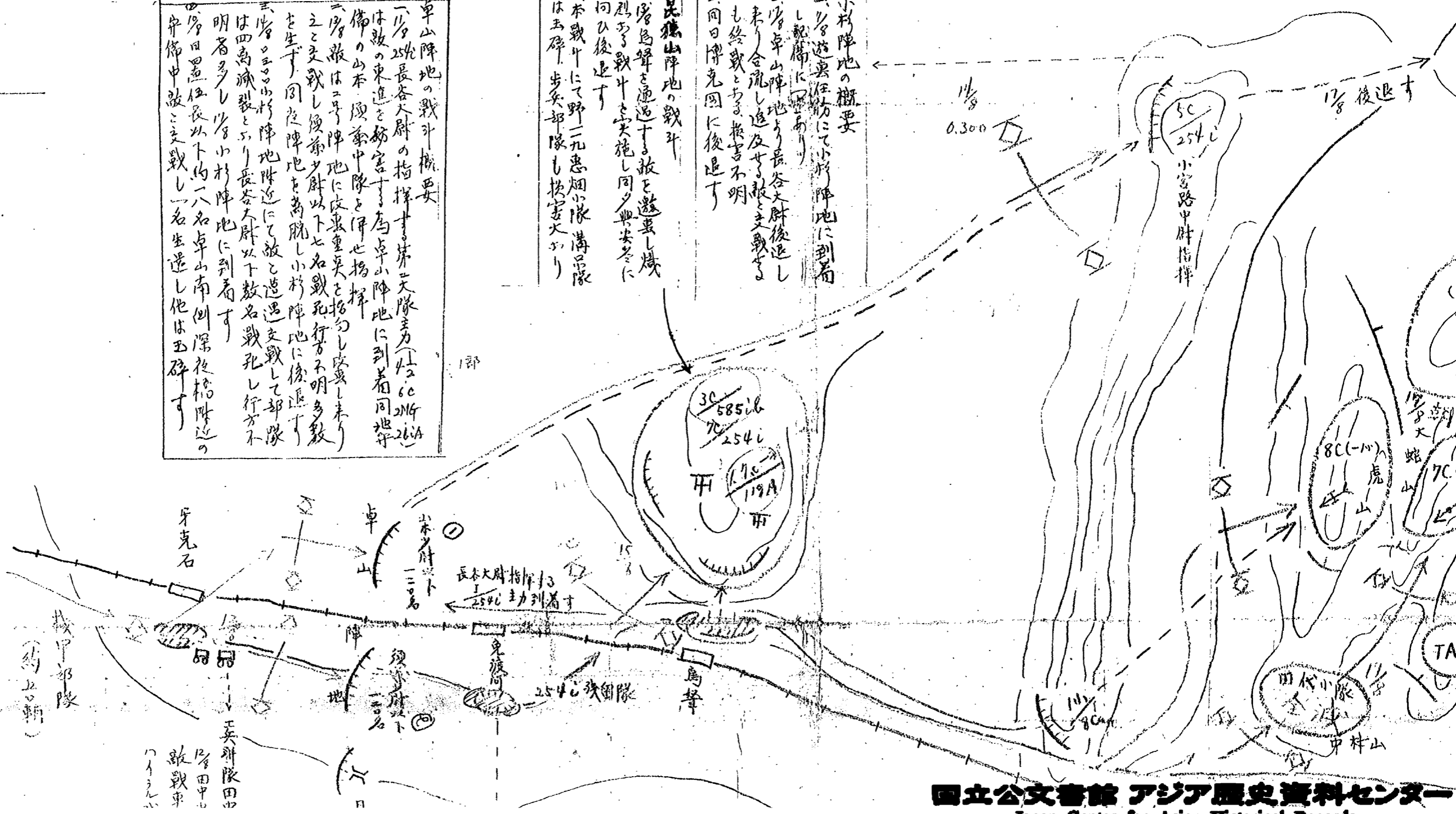
二、少佐卓山陣地より長谷大尉後進し未了合流し追及せし敵と交戦すも終戦とある報告不明

三、同日博免園に後退す

昆徳山陣地の戦い

一、少佐遊要任務にて故を遊要し焼けたる戦斗を大施し同夕博免園に回す

二、本戦にて野二九忠烟小隊溝田隊は玉碎し歩兵部隊も損害大あり



全般状況

一、前線前師団主力は興安嶺にて陣地構築を實施中あり 一部は病弱者補充兵は海拉爾にて補給と共に海拉爾の守備を独混八〇旅団に引継がし師団は全力を以て興安嶺にて對敵攻撃を實施す 辛じて陣地を確保す 特に卓山陣地混徳山陣地伊利河陣地は戦いに終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

三、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

四、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

五、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

六、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

七、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

八、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

九、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十一、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十二、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十三、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十四、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十五、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十六、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十七、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十八、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

十九、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十一、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十二、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十三、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十四、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十五、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十六、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十七、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十八、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

二十九、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

三十、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

三十一、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

三十二、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

三十三、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

三十四、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

三十五、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

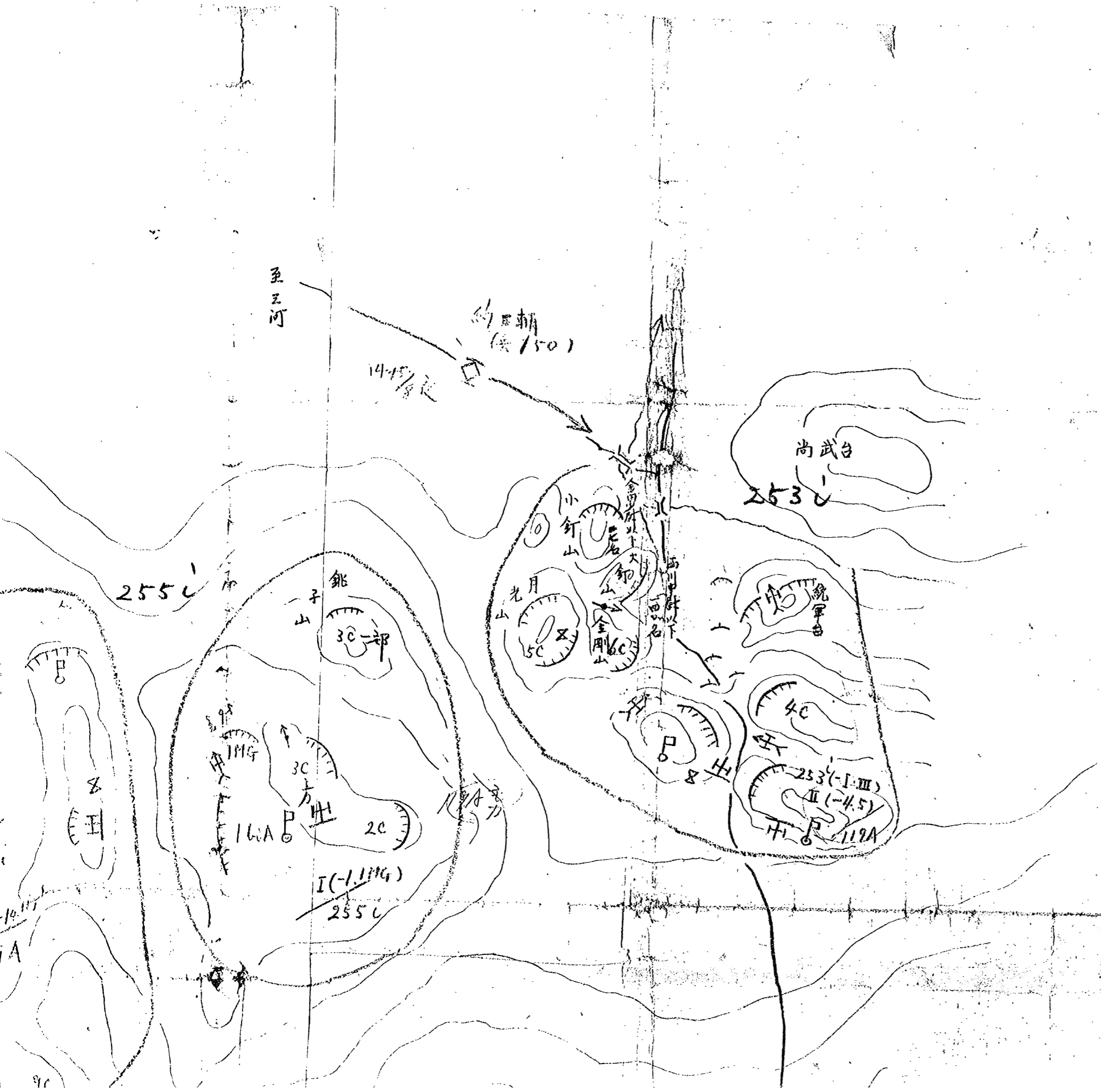
三十六、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

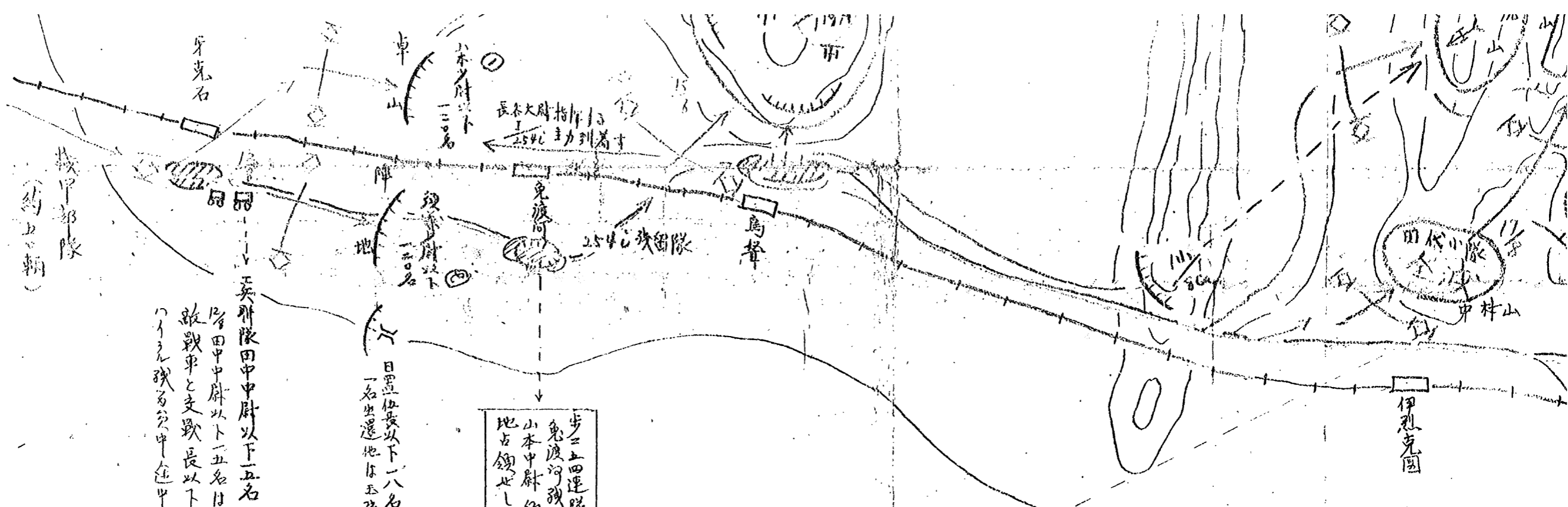
三十七、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

三十八、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

三十九、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す

四十、終戦とあり主力は博克圖に一部はケハルに集結す





南嶺陣地の戦死

1. 254名南嶺方面に展開す敵戦車群と交戦
 敵戦車群は約二〇名を破壊せしめ、残存戦車は約
 10名に減少す。敵戦車長以下数名南嶺を脱走す。陣
 地にて敵戦車に肉攻し戦死二名行方不明
 一〇名とす。

2. 254名若豆山の戦死
 199名と配備と交代す

3. 199名戦車と伴小歩兵約六〇名の攻撃を受け
 之と交戦戦死一九名負傷二〇名とす

4. 199名官本曹長以下一〇名と海拉爾方面に在
 候もさし行方不明

5. 199名各口中尉以下約六〇名南嶺を脱走すに
 肉攻に出発し海拉爾の指揮す約三五名中
 約五〇名戦死す

伊烈克圖陣地の戦死

1. 254名中尉以下約五〇名(は向是砲撃隊の下に力攻する
 敵戦車と交戦し戦死二名負傷二名とす。陣地は占領せしめ
 是余兵力を駆り第一陣地正面に猛攻し、大蛇山(北)虎山(北)に
 於ては彼我混戦となり一進一退を繰り返す。遂に虎山(北)が砲撃の
 支援射撃に依り幸して確保し得たが死傷者続出の爲に後
 一急進勢を整理し盤石山麓に後退し終戦とす

2. 第一大隊は戦死七名

3. 199名早朝第十一中隊北山中尉を指揮す。虎山分隊玉碎す

歩上四連隊免渡河残部隊
 免渡河残部隊として奮戦中尉以下約五〇名残留しありて南嶺と共に
 小本中尉を指揮す。各一〇〇名と卓山陣地に派遣し陣
 地占領せしめ残存は199名伊烈克圖主陣地に後退す

日置佐長以下一八名準備
 一名出還地は玉碎す

小本中尉以下一三名

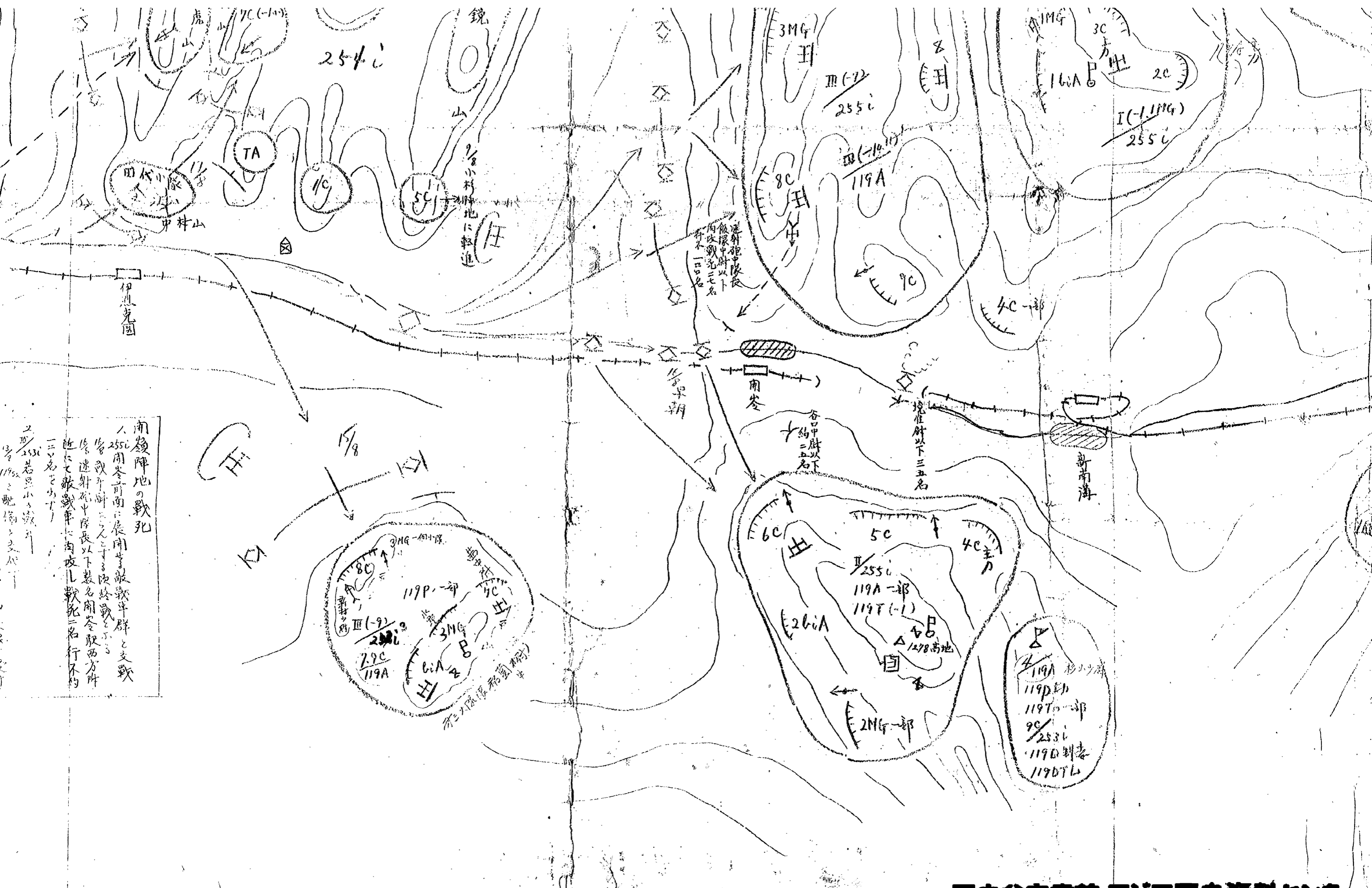
免渡河残部隊として

小本中尉以下約五〇名

各一〇〇名と卓山陣地に派遣し陣地占領せしめ

伊烈克圖主陣地に後退す

機甲部隊
 (約五〇名)



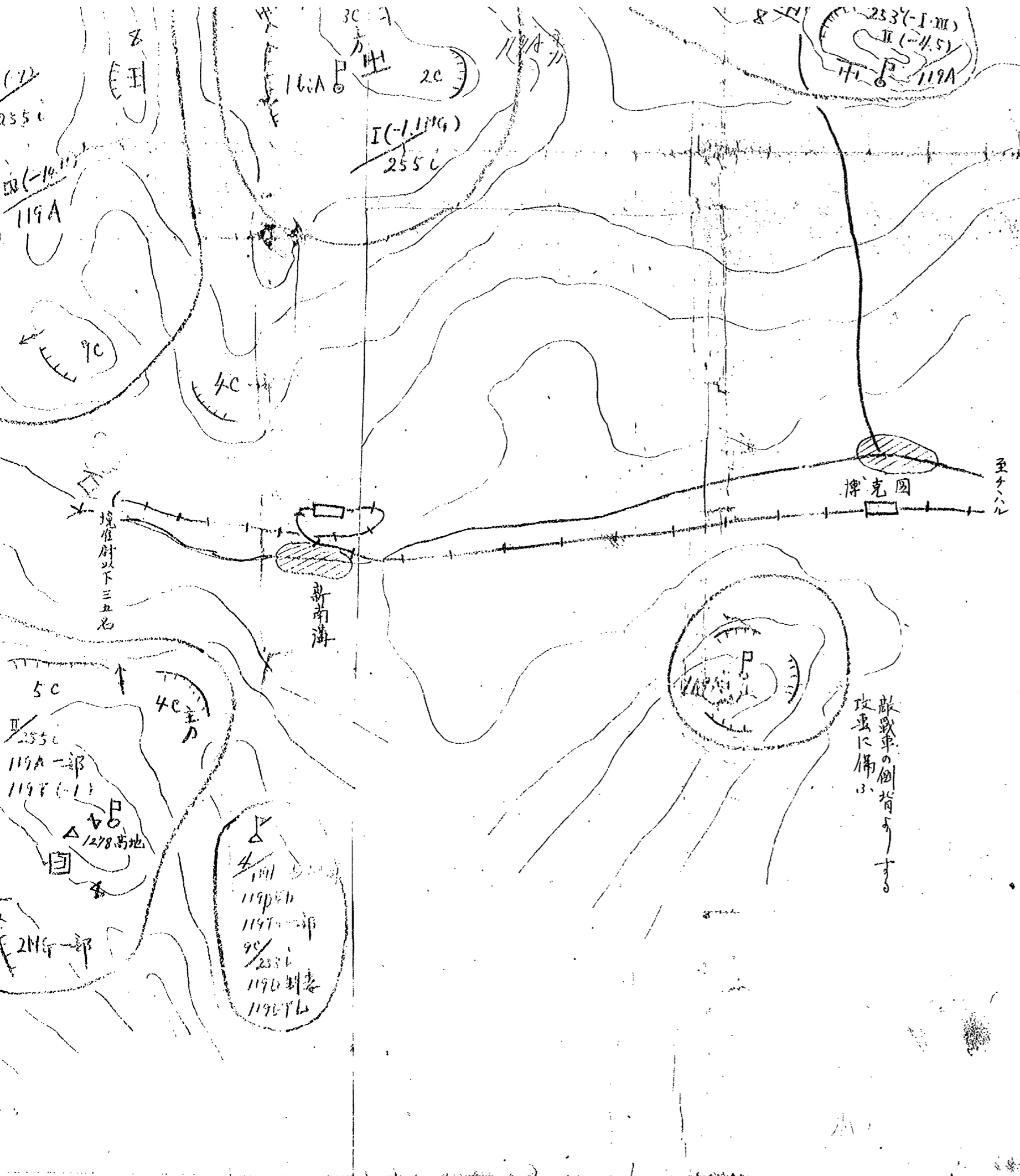
南嶺陣地の戦死
 255c 南嶺陣地は辰川等敵戦半群と交戦
 1/8 敵戦半群を撃つに敗れ、戦死した。
 辰川等速射砲中隊長以下数名、南嶺西方陣
 地にて敵戦車に肉攻し、戦死した。行方不
 詳者若干名あり。

速射砲中隊長
 辰川中尉以下
 肉攻戦死三名
 行方不明一名

谷中尉以下
 約二五名

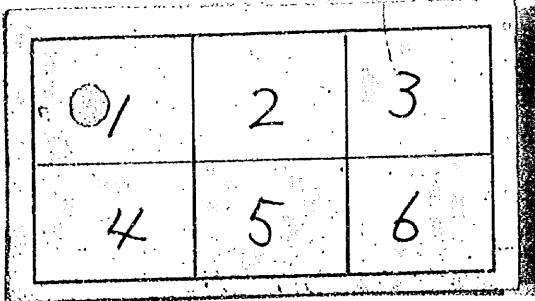
現在斜以下三五名

新南海



部(病弱者補充兵)は海拉爾に残置し補充兵の教育に任じあり
 全力を以て興安嶺にて敵を激退すも敵の砲戦攻撃熾烈にして1/8に亘り
 陣地混徳山陣地伊烈克回陣地は損害大なり
 方及南方陣地は戦斗せず
 隊野砲隊)野砲兵百十九連隊長指揮しハルビンに転進し戦斗せず
 全爆により若干損害を出すも主力に合流す一部80%に配属し海拉爾陣地に於

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

モロトノ
あな
モロトノ

作業大隊調査原簿 作業大隊調査原簿

整理番 続	作業大隊番號	大隊長官氏名	所属部隊名	本籍	編成年月日、場所
	大隊	(前)			略
	長				於
		副			

1. 作業大隊編成内容

隊別	隊長官氏名	所属部隊名	本籍	編合部隊及人員	摘
本部					

2. 編合部隊の部隊別人員

部隊名	將校	下士兵	軍屬	三國人	計	其の			
						開拓團	義勇隊	官公吏	技術者

この作業大隊の編成は、(前)より(後)へと変更された。其の理由は、(前)の部隊が(後)の部隊に吸収されたことによる。

経過及	月日
人員	
名	

由(駐留)地点
送手段

人員の
人員数 官氏

四 あなへの部隊時の経過 (前) (後)

3. 編成地出發迄の人員變動状況

行動の概要	轉出入(補充)の状況	死亡	入院	脱

この作業大隊の人員變動は、(前)から(後)へと変動した。其の理由は、(前)の部隊が(後)の部隊に吸収されたことによる。

整理番 続	作業大隊番號	大隊長官氏名	所属部隊名	本籍	編成年月日、場所
	大隊	(前)			略
	長				於
		副			

表に記入の上

左の事項

あなたか

(例) 20

北鮮に送

モロドイ

(例) 21

モロドイ

(例) 22

モロドイ

あなた

年月日、場所、

2010年10月... (vertical handwritten notes)

共の
団
隊
吏
者

経過及び人員變動調査					大隊番號	
月日	人員名	出發時の概況	死亡數	入院數	脫走數	確度
由(駐留)地点送手段		轉出入人員の状況				
		轉出(殘留)		轉入(補充)		
		如右の概況				
		移送送入院後脱走				
計						
入所收容所名			入所人員		摘要	

人員の個人究明資料							
人員數	官氏名	本籍	部隊名	主要人物官氏名	本籍	部隊名	摘要

<p style="text-align: center;">(例) 10月1日 - 10月31日</p> <p style="text-align: center;">入所した方は所長に報告し、記録を提出する。</p>											
階級	氏名	本籍	部隊名	提供月日	階級	氏名	本籍	部隊名	提供月日		

入院 院

年月日、場所、

経過及び人員變動調査

月日	人員名	出發時の概況	死亡數	入院數	脫走數	確度
----	-----	--------	-----	-----	-----	----